

# 〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2023年 助成団体活動成果レポート

コミュニティアクション部門

優秀賞

## NPO法人 中之作プロジェクト

福島県いわき市

プロジェクト名

### 移住希望者向け「漁村体験ゲストハウス」の整備を目指す空き家再生プロジェクト

#### ■地域の課題

震災後に過疎漁村の風景保存を目指すNPO法人を設立しました。具体的な課題は、急激な人口減少と高齢化の歯止め、そして港町らしい建物の保存です。

#### ■当団体の紹介

空き家再生活動やDIY教室、港町のライフスタイルを提案するイベントを展開し、住まいを家族以外が受け継ぐ仕組みづくりに取り組んでいます。空き家を移住希望者と共にDIYなどで「漁村体験ゲストハウス」として再生する等、子育て世代が移住したくなる環境整備のために「足りないものは自分でつくる文化」を育てることは、移住者の増加だけでなく過疎漁村の活性化につながる取り組みとなります。





## プロジェクトの概要

### ■背景・目的は？

取り組むべきは、若者が住みたくなる漁村を目指し、地域住人が主体的にかかわる仕組みと、今も当たり前前に営まれている漁村の手ごたえのある暮らしに、移住者の目線で価値を見出す仕組みづくりだと考えています。住人と移住者の接点を言語化することが直近の課題です。中之作には豊かな自然や港湾施設などの未利用空間があり、それらを積極的に活用することで、子育て世代の求める住環境整備は可能だと考えています。空き家活用による若者の移住促進事業と組み合わせることで、過疎漁村の持続を目指すモデルケースとなります。私たちは、これらを総称して【エリアリノベーション】と呼んでいます。

### ■具体的な活動は？

ゲストハウス整備は、2024年6月から地元工務店に工事を発注し、施工が始まりました。

福島県(358万円)及びいわき市(500万円)による助成事業としても採択が決まり、工事全体としては1200万円の予算で行う運びとなりました。

12月6日に工務店さんによる工事が完了しましたが、内装工事は一般参加型DIYを行うことで整備を進めています。現在、不足分の資金を調達するため、いわき市のサポートを受けてクラウドファンディングを実施中です。

DIY教室は11月から実施しています。

- ・11月9日(土) 左官塗り教室[参加者6名]
- ・11月17日(日) 板張り教室[参加者5名]
- ・11月30日(日) 板張り教室・左官塗り教室[参加者8名]
- ・12月8日(日) フローリング張り教室[参加者4名]
- ・12月22日(日) フローリング張り教室[予定]
- ・12月28日(土) フローリング張り教室[予定]

Instagram、Facebook、Xにてゲストハウス整備状況やDIY教室の募集に関するお知らせを随時発信しています。



工具の使い方を習っている様子



壁の左官塗り



小学生も挑戦



初めての作業に奮闘

## ■活動の成果は？

空き家活用において、「所有者」の情報を知っているのは「地域住人」であり、彼らの紹介なしでは「所有者」には辿り着けません。

震災後の空き家再生実績が「地域住人」の信頼を得たことで、私たちのもとに空き家情報が集まり始めています。「地域住人」が喜ぶ「移住者」を紹介する仕組みづくりなど、地域を巻き込んだ空き家再生事業を実施しています。

ゲストハウスは、地域イベントや漁業体験などに参加した方が長時間滞在するための施設となる予定です。また、建物は宿泊施設としての使用だけでなく、「地域住人」が無目的に滞在できる「開かれた場＝茶の間」としても活用します。過疎地域の高齢化は単身化に向かいつつあり、地域とつながる入り口や助け合う仕組みが必要です。この仕組みは、単身で子育てをする核家族世代にとっても重要です。「茶の間」は、地域の豊かさを体感できる場として機能します。

空き家再生のDIY作業には「移住希望者」も参加を促しています。建物再生に関わることで、地域に愛着を持ってもらうことが狙いです。

ゲストハウス整備は「移住希望者」向けの漁村体験施設であると同時に、「地域住人」向けの空き家再生の先行事例になると考えています。

### 【エリアリノベーションの出口＝良質空き家の流通による移住者の増加】

今回再生する建物は、放置空き家の劣化の恐ろしさを地域に伝えるのに適した物件であり、劣化防止策としての空き家管理の重要性を「地域住人」から「空き家所有者」に伝えることができました。空き家問題は全国的に広がっており、他地域の方からの視察や問い合わせも増えています。

今回、東北・新潟の活性化応援プログラムに採択されたことで、空き家を活用したゲストハウス整備を行うことができました。このプログラム採択後、行政にも認められ、福島県及びいわき市から助成を受け、本格的にゲストハウス整備を始めることができました。



壁の板張り作業の様子



玄能を使って釘を打ち込む



参加者には建築科志望者も



フローリング張りの様子

## 団体からのコメント

私たちの目指すところは、地域活性化の【エリアリノベーション】です。今後は、空き家管理事業へ展開していこうと考えています。

私たちのNPO団体は震災復興から立ち上げたものであり、これまでは震災復興に特化した助成金に頼ってきました。しかし、震災から年月が経ち、震災復興関連の助成金が少なくなっているのが現状です。また、会員数も年々減少しており、資金が足りないうえ、人員面でも常に不足しています。

今後は震災復興関連の助成金ではなく、まちづくりに特化した助成金など、別の視点から支援を探していきたいと考えています。また、NPOとして自立できるように、自主事業にも力を入れていきたいと思っています。